

みんなで知ろう！国際バカロレア（MYP）

概念型授業によって育まれる思考力と学習の転移

広島叡智学園中学校・高等学校

主幹教諭 古市 吉洋

Aug. 24th / 2025



なぜ、MYPを導入するのでしょうか？
MYPを導入していいことは何か？

概念、グローバルな文脈、
ATL...

大変そう...



なぜ、私たちは学ぶのでしょうか？

各学校においては、児童生徒が教科等で学んだことを**相互に関連付けながら**、生活や社会の中で生きて働く知識及び技能として活用できるよう、**教科等横断的な視点**から教育課程を編成するものとする。（学習指導要領 総則より）

単元の目標設定

重要概念	関連概念	グローバルな文脈
論理	モデル	科学技術の革新

探究テーマ

測定を用いたモデリングは、実社会の問題を分析・解決するために

計画の段階から概念をハイライト

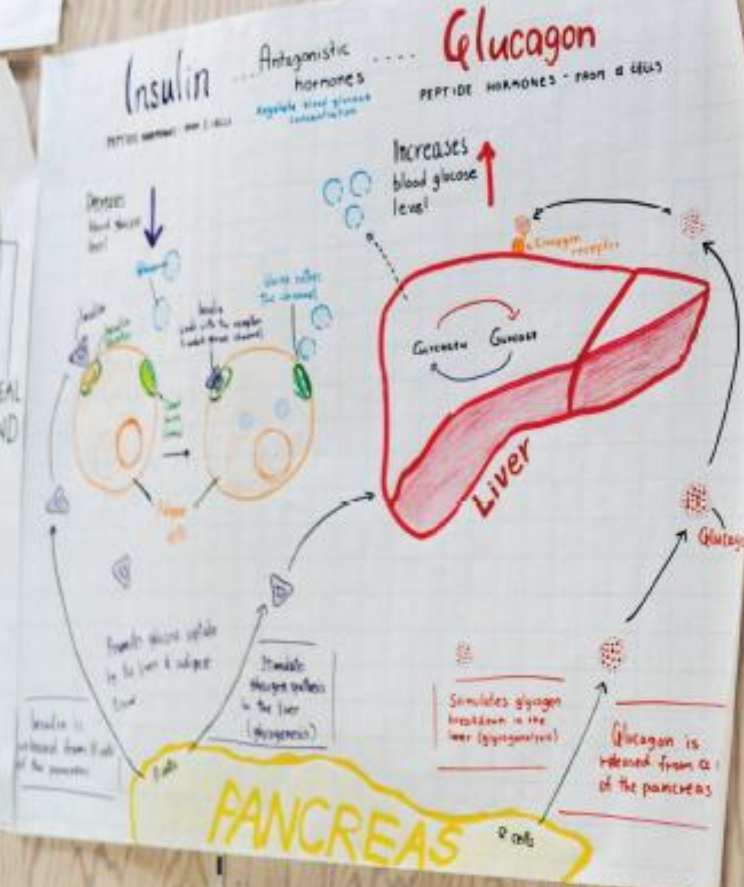
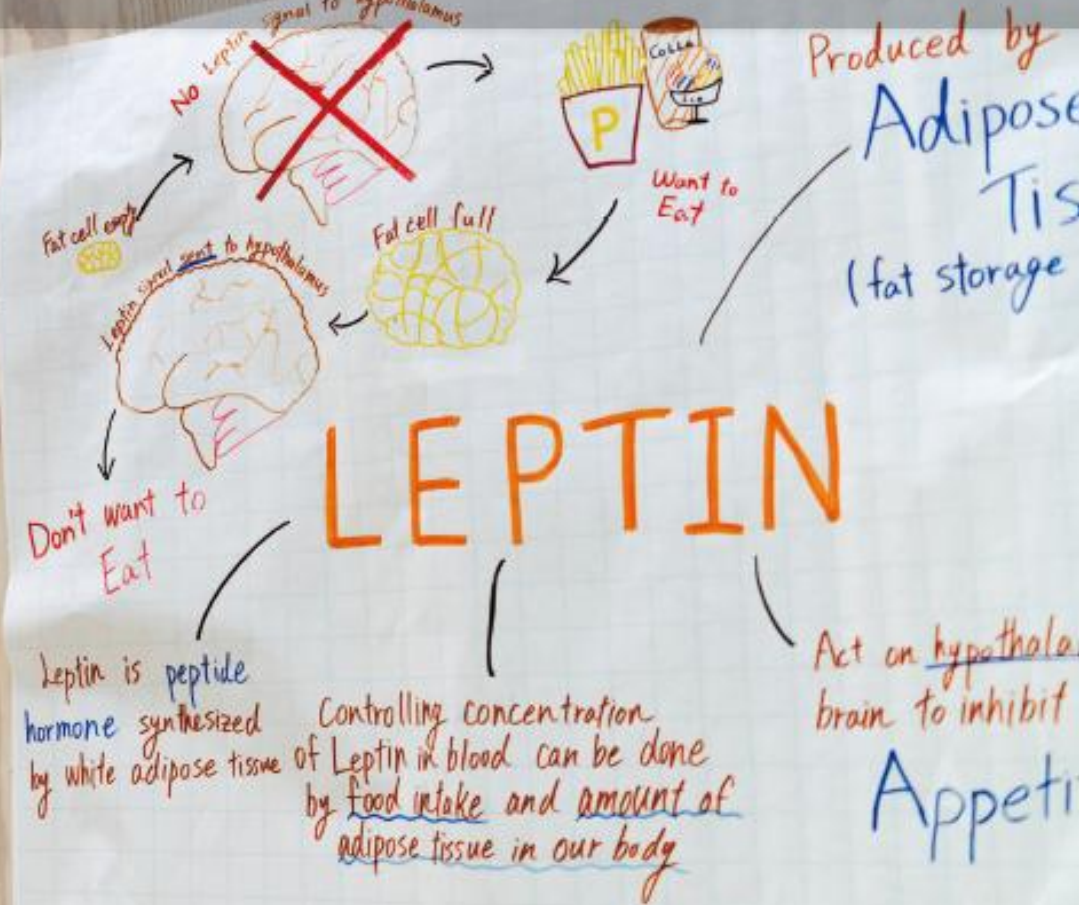
探究的な問い

- 事実的な問い：
 - ・三平方の定理が適用できない場面はどのような場面か？
 - ・どのような条件下で、正弦定理または余弦定理は適用できるか？
- 概念的な問い：
 - ・一貫性のある数学的推論の過程とはどのようなものか？
- 議論的な問い：
 - ・モデル化することで、失われる情報を無視して議論してもよいのか？

概念的理解が活用される評価課題

目標	総括的評価課題	総括的評価課題と探究テーマとの関係性
目標 A：知識と理解 i. なじみのある状況においても、なじみのない状況においても、問題を解決するうえで適切な数学的手法を選択することができる。 ii. 問題を解決する際に、選択した数学的手法を効果的に応用することができる。 iii. さまざまな文脈の中で問題を正しく解決することができる。 目標 C：コミュニケーション i. 口述と記述のどちらにおいても、説明に際して適切な数学的言語（表記、記号、専門用	○ レポート作成（目標 C、目標 D） 「複雑な図形を多角形を用いてモデル化することで、それらの面積をより正確に測定するにはどうすればよいのか？」という問いに対して、自身で仮説を立てて、モデル化を行い、面積を求め、自身の仮説を検証するレポートの作成を行う。 ○ ペーパーテスト①（目標 A） ・60 分間のペーパーテスト（電卓使用可/使用不可）	生徒は、ペーパーテストにおいて GDC 使用可問題と GDC 使用不可問題を通して、基本的なスキルの定着及び実生活の問題へ応用するスキルの定着を示す。 レポート課題においては、多角形を用いて、現実世界の図形をモデル化し、面積をより正確に測定する方法を探究することを通して、自身の仮説を論理的に検証する方法について学ぶ。

MYPを導入することによる 「学びの変化」は？



**MYPを導入することによって、
教員はどう変化する？**

これからチャレンジをする皆さんへ



Thank
you

We are HiGA